

ゲートウェイの計画コンセプト【たたき台】（第4回協議会における論点）

都心部の将来像・イメージ

リンク 釧路

Re:Innovation to Next generation, central Kushiro

～次世代に向けた釧路都心部のRe・Innovation～

○都心部全体のイメージ



○釧路駅周辺のイメージ



○北大通周辺のイメージ



ゲートウェイのキーコンセプト

道東ローカルなオンリーワンの拠点

新たなライフスタイル・イノベーションの創出

災害に強い市街地の形成

- ①ひがし北海道のゲートウェイ機能の充実
 - ・広域観光の「ハブ」としての交通結節機能の強化や情報集積
 - ・ひがし北海道のショーケースとなる観光拠点としての「目的地化」

- ②釧路オンリーのライフスタイル創出
 - ・「長期滞在＝釧路」のブランド確立
 - ・起業家・IT企業等が訪れ、地域の産業と連携した「ビジネス環境」の創出
- ③コンパクトシティを牽引するライフスタイル創出
 - ・子育て層や高齢者が「健康」に暮らせる環境の創出
 - ・市民の暮らしに「付加価値」「多様な選択肢」を提供

- ④交流が生まれる魅力豊かな公共空間
 - ・「人中心」の公共空間への再編・再整備
 - ・大規模災害等に対応した公共空間・公共施設等の整備推進
- ⑤次世代型まちづくりへのチャレンジ
 - ・IoT、自動運転等の「次世代テクノロジー」の積極的な活用

ゲートウェイにおける主要な導入機能のイメージ

居住 (長期滞在)

長期滞在用
シェアハウス型宿泊施設
【事例】カムイラ（釧路市）



宿泊

ホステル・ゲストハウス
【事例】尾道駅 m3 hostel



商業

多機能型観光センター（アクティビティ情報発信）
【事例】小清水観光センター
（アウトドアショップ、コンビニ、飲食店等併設）



観光

多言語対応インフォメーションセンター
【事例】九州観光インフォセンター福岡



地産 飲食

道東地場産品市場
【事例】道東マルシェ



公共 空間

歩行者中心の魅力的な屋外空間と防災機能（津波避難、帰宅困難者対応等）も兼ねる屋内空間
【事例】旭川駅



公共 公益

健康づくり・子育て支援
・市民交流支援機能
【事例】取手ウェルネスプラザ・パーク



コア集客 (公共＋民間)

結節 機能



居住 (生活利便複 合型)



ビジ ネス



●延べ床面積が、さほど大きくなく、ミックスユースが現実的。
⇒市場のニーズを把握するため民間事業者ヒアリングを進めていくことが必要

※資料中の導入機能のイメージについては、あくまでも議論のたたき台として掲載しており、この機能をすべて導入することが決まっているものではない。